## 11.沖縄(地域別調査機関:(財)南西地域産業活性化センター) (・: 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)

/\=7	見与の日本地域	**1手 TW1手		答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない)
分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向	良く なっている			
関連	やや良く	スーパー(企画	来客数の動き	・客数が前年比101.7%と前年をクリアした。単価の
	なっている	担当)		低下を売上点数でカバーすることができ、売上も全体
		コンビニ(経営	来安数の動き	的に比較的に好調に推移している。 ・期間限定であるが、特別スタンプラリー実施の影響
		者)	不合奴の割ら	か、来客数が2、3ポイント程は上昇している。
		その他専門店	販売量の動き	・今月は、先月比、前年比どちらも観光客相手は上向
		[楽器](経営		きであった。地元客の動きはかなり減少しているの
		者) 観光名所(職	来客数の動き	で、地元の購買力の回復は少し遅れる。 ・3か月前は前年同月対比で89.5%、3月は24日現在
		員)	不合奴の割ら	で93.6%で相変わらず前年度割れが続いているが、前
				年度の3月は利用者が非常に多かった月なので、全体
	<b>売与され</b> し	->.12- / -11	お宮塔の塔フ	として来園者数は回復している。
	変わらない	コンビニ (エリ ア担当 )	お各様の様子	・子連れの客は多くなっているが、子供がねだって も、購入しないケースが店舗で多く見受けられる。
				- 比較的高単価の焼立てパンが動いている。
		都市型ホテル	販売量の動き	・観光客数が前年と変わらず、宿泊の売上は横ばいで
		(スタッフ)		ある。地元客が売上を左右するレストラン及び宴会の
				利用は前年同月を下回り、今年に入ってから回復傾向 がみられない。3か月前との比較は横ばい状態であ
				3.
		住宅販売会社	競争相手の様子	
		(従業員)		中で数を確保したいとの思惑から、期末にかけての受験をある。
				注競争の中で全国大手メーカーでも大幅な価格値引で  受注する動きがある。
	やや悪く	家電量販店(従	販売量の動き	・3月初旬は、かなり良い動きに見えたものの、10日
	なっている	業員)		過ぎごろから売上が下降している。新入学、新年度に
		ての仏物会「兄	東京物の動き	伴う移動による需要への期待に反し、かなり厳しい。 ・例年ならば3月は歓送迎会等で来客数が多いが、今
		その他飲食 [ 居 酒屋] (経営	米各数の動き	・例年ならは3月は歓送迎芸寺で米各数が多いが、学   年は去年の93%で推移している。また、大口の予約が
		者)		激減して、少人数の予約が増えている。席の回転効率
		() ( ) 1	** * 10 * - 14 * 0	が悪くなっている。
		住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・同業者の厳しい財政状態と、新聞でたびたび報じられている弱小企業の破綻から考えると、景気が悪く
		(社合石)		なっている。
	悪く	-	-	-
企業	なっている 良く			
	良く なっている			
	やや良く	不動産業(支店	受注量や販売量	・成約率が良くなっている。
	なっている	長)	の動き	
	変わらない	「 「	受注量や販売量の動き	・競合業者の増加とダンピング競争が原因となり、スポット業務は前年同月に比べ減少している。安ければ
			() <u>=</u> ()	良いという事ではなくて、品質・安全・スピードが求
				められる。
	やや悪く	通信業(従業	取引先の様子	・米軍に関連してネットワークインフラを提供する
	なっている	員)		サービスを志向してきたが、最近の米軍再編などと関 連して取引先が極端に消極的な姿勢であり、今後の展
				開が絶望的である。
	悪く	-	-	-
雇用	なっている 良く			
	なっている	-	-	-
	やや良く		周辺企業の様子	
	なっている	会社(営業担		る恐れがあるが、その他の企業ではしばらくは好調な
		当) 学校 [ 専門学	求人数の動き	動きが続く。 ・今月に入ってもなお、IT系企業の求人がある。業
		校] (就職担	ふいく然い到日	界の盛況がうかがわれる。
		当)	15 1 10 = -:	
	変わらない	人材派遣会社	求人数の動き	・派遣の終了、新契約が合計プラスマイナスゼロとい
I	I	(経営者)		う状況である。

		職業安定所(職員)		・新規求人数は3か月前比で14.0%の減少である。雇用形態でみると、一般求人は構成比80.9%で、同18.5%の減少である。パート求人は構成比19.1%で同12.5%の増加となった。2月の新規求人を産業別にみると、教育・学習支援業、金融・保険業、飲食店・宿泊業、医療・福祉業、サービス業、卸売・小売業の各産業で求人が増加となった。複合サービス事業、情報通信業、不動産業、製造業、建設業、運輸業で減少した。有効求人倍率は、0.58倍で3か月前の11月の0.57倍より0.01ポイント上昇している。
		学校 [ 大学] (就職担当)	雇用形態の様子	・契約社員、臨時社員の採用が増加傾向にあり、いま だに正社員のリストラは続けられている。
	やや悪く	-	-	-
	なっている			
<b>月</b>	悪く	-	-	-
t,	なっている			